カトリック幟町教会報
平和の鐘
編集・発行　カトリック幟町教会（宣教企画部 広報係）
チームミニストリー：後藤正史神父(モデラトール),アルベルト神父,スティーブ神父
〒730-0016　広島市中区幟町 4 番 42 号
TEL　(082)221-0621　FAX　(082)221-8486
http://www.nobori-cho-catholic.com
2012 年 1 月号　No.439

シメオン後藤正史

2011 年、東日本大震災と原発大崩壊によって、私たちの生き方が問い直された一年でした。先が見えにくい、希望を見出しづらい、閉塞状況の社会に一条の光が差し込んできました。互いに寄り添い、絆を深めることこそ、真の意味で生きることということに私たちはきあらためて気づかされたのでした。何という幸い、何という喜び。

2012 年、新たな生き方を実地に移す希望に満ちた一年となりますように。

アルベルト神父

新年のお喜びを申し上げます。

新年を迎える恵みを頂いたことを感謝し、この一年間を有意義に過ごすように努めましょう。

特に、今年、第２バチカン公会議開始50周年を記念して、信仰を深め、その喜びを伝えるように教皇ベネディクト16世から呼びかけられています。

わたしたちの心が神の聖霊に支えられて新しい一年間を良い決定、良い実で満たすことができるよう祈ります。

今年も神様の祝福が皆さんの上に豊かにありますように。

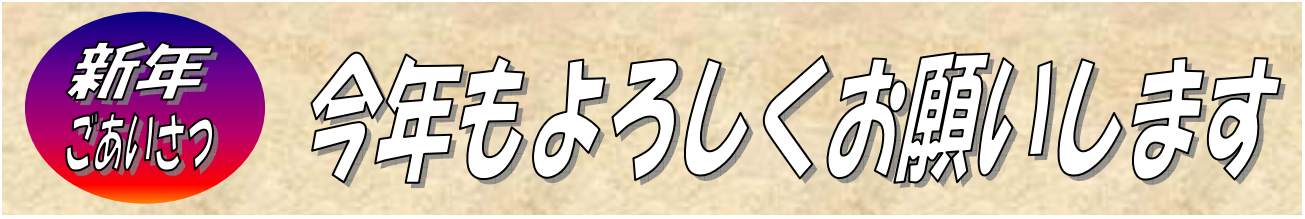
シスター小野島照子

皆様、新年明けましておめでとうございます。

今年はどんな年になるのでしょうか？確かな事は、すべては神のみ手の内にあり、被造物への神の愛は永遠で、どんな事があろうとも見捨てることなく導き続けてくださる事。

昨年は、意表をつく出来事の連続でしたが、同時にその中で、どんな時にも、悲しみ、苦しみを乗り越える力が人間の内に秘められていることを証しする人々との出会いもたくさんありました。神の偉大な恵みとそれに応答する被造物との協働の業の目撃者となり、後世に語り続ける使命に招かれた、歴史に残る年だったように思います。

今年は、今生かされている者としての使命を問い続け、神の創造された美しい世界を今と未来の人々が楽しみ、より神様の愛が充満する神の国の到来を早める事が出来ますように、ご一緒に、新しい心で、新しい恵みに応えて生きましょう！今年もよろしくお願いします。



運営委員長

新年、明けましておめでとうございます。

昨年は、震災支援のための諸活動をはじめヨハネ・パウロ２世前教皇様の列福、前田新司教様の叙階などたくさんの行事が続き、皆様にはたいへんお世話になりました。みなさまの献身的なご協力のおかげで広島教区の中心教会として、多くの方と喜びを分かち合いとてもよい活動ができたのではないかと思います。

ただ行事に追われるあまり日曜学校の子どもたちや中高生などの未来をになう若者たちを育てることが少しおろそかになったことを反省しています。

今年は、行事を少し減らして負担を軽くし、つぎの世代を担う人たちの育成につとめるとともに一つひとつの行事をより楽しく充実したものにしたいと思います。

ところで、月日の過ぎるのは早いもので、カトリック会館も築 14 年を迎え、雨漏りや壁面の汚れなど傷みがでてきており、その他の建物も補修が必要な箇所が増えてきています。国の重要文化財である世界平和記念聖堂もコンクリート劣化が進んでおり補修が急がれます。今年は、施設管理部の皆さんや教区の聖堂保存活用委員会と連携してこれらの施設の補修に取り組み、安全で安心して快適に集える場所として末永く使っていけるように努めたいと思います。

みなさまには、ご負担をお願いすることもあるかと思いますが、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

幹事長

みなさま、あけましておめでとうございます。様々な事があった２０１１年でしたが、この年は何といっても、東日本大震災の起こった年として人々の記憶に刻まれていくことでしょう。この大震災がもたらしたものは被災地の壊滅的な破壊、人々の悲嘆と絶望のみならず、日本人の道徳観や、同じ人間として彼らとつながり、助け合うことができるという共助と連帯の意識の高さの再確認でした。社会資本としての原発のあり方と、人々の「きょうどう」。２０１２年は、これらについて新しい取り組みが始まった年となることを望んでいます。

また、幟町教会の運営について言えば、神父様の御指導の下、信徒会長の献身的な活動と、運営委員会の皆様の協力、信徒の皆様の奉仕とで成り立っています。こちらの「きょうどう」も、より広くより強い働きとなる２０１２年となりますよう、皆様の御協力をお願い致します。

ヨセフ会

皆さまあけましておめでとうございます
昨年は東日本大震災があり日本人の生き方が変わった年だったように思います。真剣に生き方を考えた方も多かったのではないでしょうか。

さてヨセフ会ですが、昨年名称が壮年会からヨセフ会に変わり約１年が過ぎました。皆さんお仕事が忙しい中、お手伝いや行事に参加していただき感謝しています。特に復活祭、納涼会やバザーではお世話になりました。また　定期的な活動を行いたいと思い１１月からは第３日曜日のミサ後大聖堂のモップ掛けを企画しました。今後も継続していきたいと思います。ヨセフ会の目的は老壮青の親睦だと思うので気持ちを一つにして仲良く和気あいあいと教会活動ができますように、私たちの主イエス・キリストによって　アーメン

たまには　飲んで食べて分かちあいましょうね！！

マリア会

明けましておめでとうございます。
前田司教様・神父様方々をはじめ信徒一同様の上に、豊かなお恵みがあります様、お祈り申し上げます。マリア会も、気持ちを新たにして、みんな元気で、平穏な日々が過ごせます様、お祈りして居ます。また、マリア会の集まりの時は、一人でも多くの方に呼びかけます。気楽に参加下さいます様、希望しています。何かとお世話になる事と思います。今年も、マリア会をよろしくお願い申し上げます。

日曜学校

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。…真理を行う者は光の方に来る。その行いが神に導かれてなされたことが、明らかになるために。（ヨハネ 3⑯㉑」

日曜学校の在り方は、かなり短いスパンで変化しており、常に現状にあった形を模索しています。習い事や塾、部活動と土日も忙しい今の子どもたち…。まずありのままの自分を愛してくださる神様がいつもおられることを知り、その神様の存在を友達と一緒に分かち合い、それが日曜日だけでなく日常にも、神様を知らない友達の中でも現せるよう、導いて行けたらと願っています。

今年度は青年リーダーの絶大なる協力を得、神父様のご指導のもと、保護者もチームを組み、みんなで担い合えるよう活動してきました。至らない所は多く危なっかしい日曜学校かもしれませんが、子どもたちへの声かけ、ゲスト授業、活動へのアドバイス、そしてお祈りによって、教会全体で支えていただきたいと思います。「♪愛されている子どもらしく、…今は主にあって照らされて生きる光の子～」

今年もよろしくお願いいたします！

ぶどうの会

新年おめでとうございます。新しい年が、神の国の平和に満ちた明るい年になりますように、心から願っています。

「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」（マタイ５・９）

静かに聖句を繰り返していますと、心の中に「平和」な意識が次第に大きく、深く、力強く広がってゆき、言葉の意味に感動を覚えます。何をどのように実現してゆくかを思い巡らしていますと、次の名言に出会いました。「逞しくなければ生きてゆけない。しかし優しくなければ生きる資格が無い。」と厳しい言葉です。
即ち平和を実現するためには、自己中心的な思い、言葉、行いを退け、相手を思いやる優しさが、誰の目にも透き通って見えるものでなければならないことに気づかされます。「平和を実現する人は神の子と呼ばれる。」なんと幸せなメッセーでしょう。

1～2 月の行事予定

1/15（日） †年間第 2 主日
ヨセフ会主催による 10 分間の掃除
日曜学校授業
1/18（水） キリスト教一致祈祷週間（～25 日）
聖時間（地下聖堂 10:00）
1/20（金） 愛宮ラサール座禅会（地下聖堂 19：00）
1/22（日） †年間第 3 主日
運営委員会
日曜学校授業
高齢者の集い
広島キリスト教一致祈祷集会（14：00）
1/23（月） 教区司祭の集まり・新年会（～24 日）
1/26（木） 祈りの集い（地下聖堂 18：30）
1/28（土） 「祈りの体験」（観音教会 10：00）
1/29（日） †年間第 4 主日
2/3（金） マリア会定例会
2/5（日） †年間第 5 主日
教会掃除
日曜学校授業
2/11（土） 幹事会
2/12（日） †年間第 6 主日
高齢者の集い
学習会「第二バチカン公会議の精神を学ぼう」
2/19（日） †年間第 7 主日
「平和アピール 1981」記念行事
ヨセフ会主催による 10 分間の掃除
運営委員会
日曜学校授業
2/22（水） †灰の水曜日

編集後記

平和の鐘の紙面に、質問コーナーが欲しいと言うご意見をいただきました。「誌上談話室わかちあい」では、信仰に関する質問や皆さんと分かち合いたいことなど 匿名でも良いので、皆様からの投稿をお待ちしています。（か）